○保内小学校からいただいた感想　（原文の表現を尊重して掲載しています）

「へえー」と思いながら橋の構造やどんな工夫をしているのかなどを聞きました。そして、クレーンで一つ一つ金具を入れている時に「ピュンピュン」と聞こえて面白かったです。その他に簡単で分かりやすい映像などもあって、「橋の工事は、難しいんだ」と思いました。
4年1組　佐藤　考大（さとう　こうた）さん

橋の作り方を聞いて、「こんなに大変なんだな～」と思いました。特に大変だと思ったのは、水が入らないように鉄を真ん中あたりにさすところです。令和4年のような水害が起きないように川を深くほったり、横も広くしたりして、「もう水害が起きないといいな」と思いました。
4年1組　山田　和花（やまだ　のどか）さん

橋の工事について、工事をする理由や手順などを子どもたちと一緒に学ぶことができ、良かったです。子どもたちも橋の作り方や種類を知りたいと感じている子が多く、良い時間でした。また、工事現場を実際に見せていただき、ただ重機で作業するだけでなく、多くの人が携わり、私たちの生活を支えてくださっていることが改めて分かりました。
4年1組担任　田海先生

橋のじゅぎょうで初めて知ったことは、橋にもいろいろな種類があることです。前にあった水害から川の幅を広げたり、高くしたりと、いろんな工夫があってすごいなと思いました。
4年2組　鈴木　利宗（すずき　としむね）さん

私が橋の勉強で初めて知ったことは、橋の構造です。前までは、橋をどうやって作っているのかが気になっていたけれど、地面に棒をさしたり、そこに鉄の棒を乗せたり、いろいろなことが学べました。橋の完成が楽しみです。
4年2組　森川　陽（もりかわ　はる）さん

工事現場の見学を通して、「工事はいつ終わるのかな」「不便だな」という思いが、「地域の安全のためなんだ」という意識に変わったと感じています。橋づくりの過程や現場で作業する方の思いについて、学習発表につなげた児童もいました。今後も、教室から工事の様子を見守り、完成を楽しみにしています。
4年2組担任　嵐先生

○施工者からいただいた感想

株式会社 渡辺組
現場代理人　大沼　陽平さん

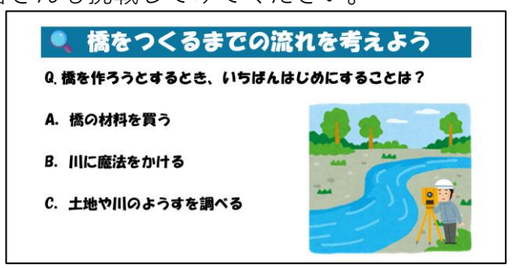
①現場見学会を引き受けて
学校の近くで行われている橋梁工事を知ってもらう良い機会と感じました。

②小学生を対象とするうえで特に注意したこと
当日は悪天候のため、安全確保を最優先とし、カラーコーンやマットによる歩行ルートの確保、仮設テントの設置、ヘルメットの準備などを行いました。

③ 現場見学会を実施して
子どもたちは明るく、さまざまな説明に積極的に反応してくれました。工事が地域の安全を守るためのものであることを感じてもらえたらうれしく思います。工事完了後には、新しく整備された川の様子をぜひ見ていただきたいです。

クイズ？！

出前授業で出題したクイズです。
皆さんも挑戦してみてください。



※答えは下に記載

○次号のお知らせ

今後も事業の進捗に合わせて、整備状況を写真等によりお伝えします。
少しでも早く地域の皆様の安全・安心を確保するため、引き続き事業を進めてまいりますので、ご理解とご協力をよろしくお願いします。

○春木山大沢川かわら版に関するご意見・ご質問について

〒958-8585　村上市田端町6番25号
新潟県　村上地域振興局 地域整備部 災害復旧課
TEL:0254-52-7965　メールアドレス:ngt111250@pref.niigata.lg.jp

クイズの答え：ピラミッド

令和８年２月25日付
第３号
回覧

春木山大沢川　かわら版

～ 河川改良復旧事業 ～

発行：新潟県 村上地域振興局 地域整備部

新潟県

○改良復旧事業の進捗状況や工事に関する情報をお知らせします。

令和4年8月豪雨により被災した春木山大沢川の復旧ならびに改良工事においては、地域の皆様には格別のご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。
かわら版第3号では、本事業の現在までの整備状況と**保内小学校での橋梁架替工事の現場見学会**について、紹介します。

○橋梁架替工事の現場見学会

現在、春木山大沢川の河川改良工事に伴って、保内小学校の目の前で市道藤沢学校町線の橋梁架替工事を実施しております。日常的に目にしている工事の目的や内容を知ってもらうため、小学4年生の防災授業の一環として、現場見学会を開催しました。
保内小学校の先生方ならびに株式会社 渡辺組の皆様、ご協力ありがとうございました。

開　催　日：令和7年11月18日（火）
3限目　出前授業
4限目　現場見学
施　設　名：藤沢学校町線橋梁
参加小学校：村上市立保内小学校
参　加　者：4年生および先生
施　工　者：株式会社 渡辺組

当日は、**「川に橋が架かる」**貴重な瞬間を見学してもらいました。

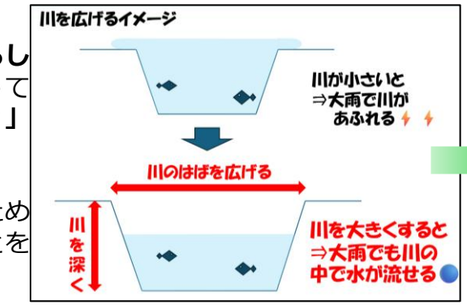
小雨が降る肌寒い天候の中でも、興味を持って、一生懸命に見学する姿がとても印象的でした

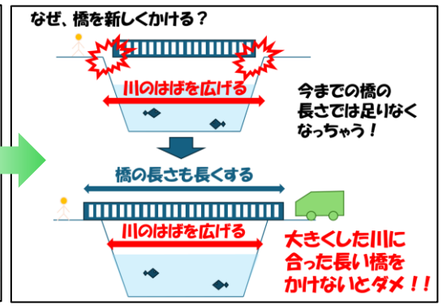
出前授業

現場見学

出前授業では、**「水害の恐ろしさ」**や、右のような映像を使って**「なぜ、橋を新しく架けるか？」**を説明しました。

水害から地域の安全を守るために、工事に取り組んでいることを知ってもらいました。





○改良復旧事業平面図　【施工中工事ならびに施工完了状況】(R8.2月時点)

＜凡例＞　【橋梁】
工事完了箇所　：
工事中　：
工事予定箇所　：

- 早期の事業完了を目指し、着手可能となった箇所から河道整備を進めています。
- 橋梁上下流の護岸工事は橋梁工事と同時に施工します。
- 前号（R7.12月）から、新たに2つの工事が追加となりました。

② 市道藤沢学校町線橋梁工事

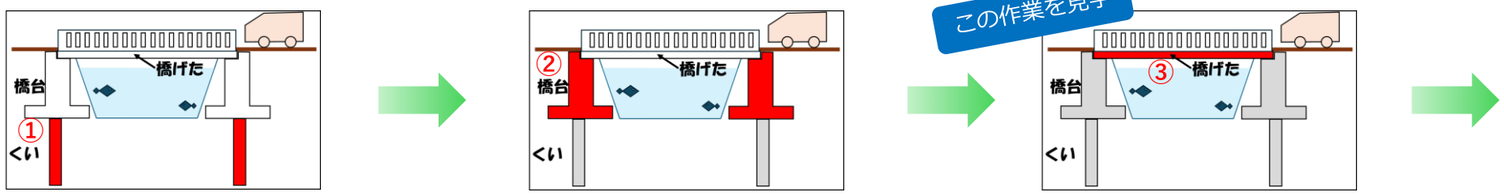
① 護岸その2工事（国道7号橋梁撤去）

③ 市道春木山2号線橋梁工事

※主に新潟県の発注工事を記載しています。

○橋梁工事の流れ（市道藤沢学校町線橋梁）

写真の　は、児童の感想によるものです



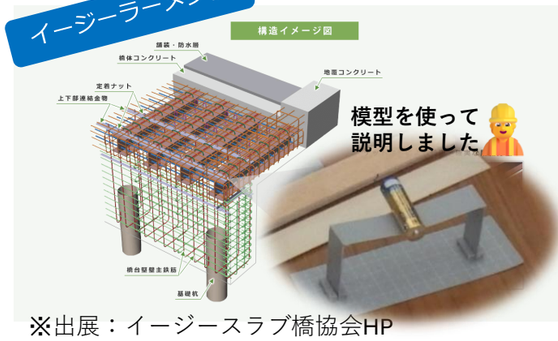
①基礎杭（きそぐい）の設置
橋を地面の奥深くでしっかり支える

②橋台（きょうだい）の設置
橋と地面をつなぐ「土台」となる

③橋桁（はしげた）の設置
人や車が実際に通る橋の部分

④橋桁のコンクリート打設
橋桁を鉄筋でつなぎ、コンクリートで固める

イージーラーメン橋



※出展：イージースラブ橋協会HP

現場見学会を実施した橋梁では、「**イージーラーメン橋**」と呼ばれる構造形式を採用しています。橋台と橋桁が鉄筋コンクリートで一体となり、橋全体で力を支える構造のため、次のような特徴があります。

- 橋台、橋桁をコンパクトにでき、狭い場所での施工に適する。
- 耐震性が高く、地震時にも橋桁の落下が起こりにくい。